

令和 5 年 5 月 9 日現在

機関番号：12102

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2022

課題番号：19K13022

研究課題名（和文）絵本制作への実践的応用を目指した文字のない物語表現メカニズムの研究

研究課題名（英文）Story Expression Mechanism Without Words for Practical Application to Picturebook Creative

研究代表者

山本 美希（YAMAMOTO, MIKI）

筑波大学・芸術系・准教授

研究者番号：90783770

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：物語絵本において、「文字のないページ」の表現は物語内容を表す上で独自の役割を担っていて、作品の成立に実質的に大きく貢献しているのではないかと仮説を立て、国内外の絵本を調査し、文字のないページを含むものがどれくらいあるのか、またそれが物語表現にどのように作用するのかを分析した。研究対象は国立国会図書館国際子ども図書館所蔵の資料を中心とし、本研究ではその作用を5つのタイプに分けて分析した。最後に、本研究の成果を実践的な制作へ応用することを目的に、制作者向けハンドブックを作成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年、絵（画像）が主体となって伝達の役割を担う物語表現への関心が高まっており、複数の研究者が文字のない表現に関心を寄せ散発的な言及をしてきたものの、この点に関する体系的な研究はなされてこなかった。物語絵本における「文字のないページ」の表現における5つのタイプを明らかにし、またそれを制作の過程にまで還元できるようにするハンドブックを作成した。本研究の成果によって、絵本表現において「文字を用いない」表現の効果の一端が明らかになった。また、ハンドブックを通して、絵本制作の現場において、文字のない表現の活用がより浸透することが期待できる。

研究成果の概要（英文）：In story picturebooks, the expression of "pages without words" plays a unique role in expressing the content of the story, and may contribute greatly to the establishment of the picturebook. To support this hypothesis, this research reviewed domestic and foreign picturebooks and analyzed how many of the books contain pages without words and how this affects narrative expression. The object of the study was mainly materials in the collection of the International Library of Children's Literature, National Diet Library. We then analyzed the influence of wordless pages on the story, and divided the effects into five types. Finally, a handbook for artists was prepared with the aim of allowing practical application of the results.

研究分野：絵本学

キーワード：文字のないページ 文字のない表現 絵による物語表現 絵本研究

1. 研究開始当初の背景

従来、「物語」は言葉と強く結びついていると捉えられてきたが、一方で画像を伴うジャンルにおいても「物語」は表現されている。画像が主体となる絵本の分野では、近年欧米で「文字のない絵本」が盛んに発表されるようになり、移民や多国籍の児童が混在する教育現場ではその活用の可能性が注目されている（Arizpe, Colomer and Roldán 2014）。2015年には「文字のない絵本」の名作500冊を集めた書籍が発表され（Martin 2015）、また文字のない絵本であるショーン・タン『アライバル』（2006）は日本でも6万部を超える大ヒットとなっている。このように、絵（画像）が主体となって伝達の役割を担う物語表現への関心が高まっている。

先行研究から、絵本においては「絵」と「言葉」という2つの異種の表現要素の相互関係により多彩な表現が創り出されることが明らかになっている（笹本 2001）。一方で、先に述べたように絵本には「文字のない表現」を含む例も数多くある。例えば、モーリス・センダック『かいじゅうたちのいるところ』（1963）やパット・ハッチンス『ロージーのおさんぽ』（1968）など、著名な絵本においても文字のないページが実際に使用されており、物語に対するその表現の重要性が指摘されている（Bader 1976; 藤本 1999）。このように複数の研究者が文字のない表現に関心を寄せ散発的な言及をしてきたものの、この点に関する体系的な研究は例がなかった。

そこで研究代表者は、物語絵本において、「文字のないページ」の表現は物語内容を表す上で独自の役割を担っていて、作品の成立に実質的に大きく貢献しているのではないかとの仮説を持ち、本研究を着想した。

2. 研究の目的

本研究の目的は以下の2点である。

（1）物語絵本における「文字のないページ」の表現の実態を明らかにし、その作用と全体像を浮かび上がらせること

（2）絵本の創作現場で「文字のないページ」を実践的に活用するためのガイドを作り、絵本制作者向けに研究の成果を公開すること

3. 研究の方法

（1）実態調査：文字のないページの見られる作品をリストアップし、そのページの作用・挿入部のページ数をチェックシートに記録する。国立国会図書館国際子ども図書館の児童書研究資料室にて開架されている資料のうち、日本語で出版された絵本およびイギリス・アメリカ・カナダなどの英語の絵本を調査対象とした。その選択理由は、およそ4万点の資料が開架されていることと、その開架資料には国内の絵本とともに複数の外国の絵本が含まれることの2点である。英語資料を調査対象に含めたのは、国際的にも客観性のある結果を得たかったことが理由である。さらに申請者の所有する資料（約600冊）も含めて、全体でおよそ1万点の物語絵本を予備調査した結果、840冊で文字のないページが認められた。

（2）グループごとの分析：①の調査で抽出できた840冊の絵本を対象に、それらに含まれる「文字のないページ」の作用・特徴をピックアップしてゆく。

4. 研究成果

（1）分析結果の概要

分析の結果、5つの異なる作用があると考えられたため、最終的に5つのタイプに分けた。1ページに複数の作用があると捉えられる場合や、文字のないページが複数あり異なる作用をする場合は、両方のグループに含めた。

- A 重要な展開を際立たせる (616 冊)
- B 重要な事物・状況を紹介する (448 冊)
- C 時間の経過・状況の推移を表す (130 冊)
- D 隔てられた時空間を表す (36 冊)
- E 無言・無音を表す (35 冊)

A 重要な展開を際立たせる (616 作品)	B 重要な事物・状況を紹介する (448 作品)	C 時間の経過・状況の推移を表す (130 作品)	D 隔てられた時空間を表す (36 作品)	E 無言・無音を表す (35 作品)
<ul style="list-style-type: none"> ・『とんことり』 ・『ねみちちゃんとねずみくん』 ・『ピンク！パール！』 ・『きゅうりさん あぶないよ』 	<ul style="list-style-type: none"> ・『飯盛山の三吉ギツネ』 ・『草之丞の話』 ・『The Runaway Bunny』 ・『ソリちゃんのチュソク』 	<ul style="list-style-type: none"> ・『こぶとり』 ・『Ten in a Bed』 ・『Rosie's Walk』 ・『Okino and the Whales』 	<ul style="list-style-type: none"> ・『Ben's Dream』 ・『なみにきをつけて、シャーリー』 ・『Me and You』 ・『The Witch's Garden』 	<ul style="list-style-type: none"> ・『わたしのワンピース』 ・『しーっ！ぼうやがおひるねしているの』

また、この5つのグループについてもさらに細かな表現を観察した。その結果はそれぞれ、以下の通りである。

A グループ (重要な展開を際立たせる)：最後で文字のないページを使用する例が 392 冊と特に多く、続いてクライマックスでの使用、最初での使用なども見られた。

B グループ (重要な事物・状況の紹介)：クローズアップ (大写し) を使用する例と、ロング (遠景) を使用する例に大きく分けられた。

C グループ (時間の経過・状況の推移を表す)：文字のないページを「連続使用する」「断続使用する」「単独使用する」例があった。連続・断続使用の場合は、継続した時間の経過を捉えるのに対し、単独使用の場合には1つの画面に時間の経過が凝縮されており、それぞれの画面に異なる作用が見られた。

D グループ (隔てられた時空間を表す)：同じく「連続使用する」「断続使用する」「単独使用する」例がそれぞれ見られた。グループ C と異なる点は、文字のないページが夢・空想・昔の回想・本の中の世界など、物語が始まった時空間とは別世界を表現するために使用されている点である。

E グループ (無言・無音を表す)：音や声が消えること、静けさを強調することなどは最も素直な例として思い浮かぶが、事例の数は 35 冊とさほど多くなかった。登場人物が眠ったり、周囲が静かになる状況などで使用されていた。

(2) 考察

分析の結果、文字のないページの作用は数多くの絵本において物語表現に関わっており、有効であると確認できた。特に A・B グループのように作中の重要な事物・状況や展開を際立たせる作用を担うものも多く見られた。文字のないページを使用することは、読み取るべき情報を減らすことであり、描かれた内容への注意を高める。これは別の言い方をすれば、物語の要所で「絵と文字」から「文字なし」へ、表現のスタイルを切り替えることである。スタイルの変更によ

て、情報を減らして注意を引いたり、物語の特定部分の特殊性を強調したりして、読者へ強い印象を与える。それが、文字のないページに共通する作用・意義であると考察できた。

また、これらの分析を足がかりとして、安野光雅の文字のない絵本表現に関する論考や、小泉吉宏の絵本の分析において文字が抜ける場面について触れるなど、研究の成果を派生的に他の絵本表現の考察へ繋げることもできた。本研究の成果によって、絵本表現において「文字を用いない」表現の効果の一端が明らかになったことから、さらに絵と言葉の関わりの多彩な分析が可能になると思われる。

(3) 制作者向けハンドブックの作成

これまでの分析・考察をもとに、研究成果を広く公開し、実践的な制作へ応用することを目的に、制作者向けハンドブック『絵が物語になるとき—文字のない絵本のハンドブック』を作成した。絵本の制作者が文字のないページが果たす役割に理解を深められ、効果的に活用できる参考資料となるよう、これまでの論文やデータを見直し、平易な文章にまとめ直した。ハンドブックは、絵本作家を目指す学生や絵本教育を手掛ける教員、絵本の編集者など、関係者へ配布した。配布した関係者からのフィードバックを今後の研究へ発展させられると考えている。このハンドブックを通して、絵本制作の現場において、文字のない表現の活用がより浸透することが期待できる。



ハンドブックのカバー

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 山本美希	4. 巻 19
2. 論文標題 小泉吉宏『戦争で死んだ兵士のこと』が問う現代の戦争	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 絵本BOOKEND 2022	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 38
2. 論文標題 絵のついた本を作るわけ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ニューサポート 高校国語	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 53 (7)
2. 論文標題 安野光雅の文字のない絵本	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 353-360
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 18号
2. 論文標題 絵本から新型コロナウイルスを考える：衛生に関する絵本と、絵本周辺で見られた取り組み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 絵本BOOKEND 2021	6. 最初と最後の頁 77-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 17号
2. 論文標題 労働するサンタクロース	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 絵本BOOKEND 2020	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 17号
2. 論文標題 イギリス絵本会の巨匠 チャールズ・キーピングの人物像と仕事	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 絵本BOOKEND 2020	6. 最初と最後の頁 38-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 76巻1号
2. 論文標題 疫病禍のなかでイラストレーションをつくる	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 314-316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本美希	4. 巻 21
2. 論文標題 物語絵本における文字のないページの有効性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 絵本学	6. 最初と最後の頁 13-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 山本美希
2. 発表標題 危機のなかで何を描く？
3. 学会等名 令和3年度筑波大学人文社会科学研究群公開講座 危機の時代に立ち向かうグラフィックノベル
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本美希
2. 発表標題 疫病と創作 - 絵を描く立場から
3. 学会等名 東アジア若手研究者合同フォーラム - グローバル時代におけるリスクコミュニケーション（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三原鉄也, 山川道子, 福田一史, 山本美希
2. 発表標題 コミック・アニメ・ビデオゲームの工学的研究・データ活用を探る
3. 学会等名 第7回コミック工学研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 山本美希	4. 発行年 2023年
2. 出版社 筑波大学芸術系	5. 総ページ数 256
3. 書名 絵が物語になるとき 文字のない絵本のハンドブック	

〔産業財産権〕

〔その他〕

筑波大学研究者総覧 TRIOS
<https://trios.tsukuba.ac.jp/ja/researchers/0000003883>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------